

英語科学習指導案

日 時：

学 校 名：

展開学級：

授 業 者：

1 単元名 PROGRAM 3 Taste of Culture (SUNSHINE ENGLISH COURSE 2)

2 単元の目標

- (1) 学校生活や日常生活に関する語句や動名詞および不定詞の意味や働きを理解する。

〔知識〕【知識及び技能】

- (2) 学校生活や日常生活について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付ける。 〔技能〕【知識及び技能】

- (3) 自分自身の将来について、自分の考えや気持ちなどを整理し、それらを簡単な語句や文を用いて伝えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】

- (4) 自分自身の将来について、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語や文を用いてわかりやすく伝えようと粘り強く取り組んでいる。 【学びに向かう力、人間性等】

3 単元について

(1) 単元観

本単元では、「Taste of Culture」と題し、自国と他国の食文化について学びながら英語習得及び国際理解につなげていくことを目的とする。指導においては、学習指導要領外国語第2英語の目標(3)話すこと〔発表〕イ「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。」に重点を置いて指導を行う。本単元で扱う言語材料は、不定詞の名詞的用法「～すること」、副詞的用法「～するために」、形容詞的用法「～するべき、～するための」及び動名詞「～すること」であり、主に自分自身のことについて意欲的に粘り強く伝えようとする態度を育成することがねらいである。

また、不定詞の名詞的用法は6年生のLesson3「Where do you want to go?」、Lesson5「I want to see the Milky Way.」ですでにwant to ～を学習している。本単元では、小学校での学びを生かし、want to be/do を使って、自分自身のことについて伝える活動を導入することで、本研究会の外国語教育研究テーマである「学びのつながりを意識した、『伝える力』をのばす指導と評価」につなげたい。

(2) 学校研究主題と英語科研究主題との関わり

本校の研究主題は「自己の在り方や生き方を主体的に考えることのできるキャリア教育の実践」である。この研究主題を受けて、英語科の研究主題を「自己理解・自己管理能力の向上を図る言語活動の工夫～互いに高め合う学習活動を通して～」と設定した。言語活動において、生徒が自分自身のことについて主体的に考え、それを自分の言葉でわかりやすく表現することがコミュニケーションを図るための第一歩である。つまり、キャリア教育における「自己理解・自己管理能力」を向上させることが、英語を学ぶ上で必要な力だと考える。

昨年度の研究結果より、キャリア教育における4つの基礎的・汎用的能力のうち、自己理解・自己管理能力が最も乏しい結果となった。これらの能力を伸ばしていくために、英語科では言語活動を通して自分自身のことについて表現する機会を多く設けること、その中で生徒同士が思考ツールや相互評価（ルーブリック）を活用して互いに高め合える協働学習を取り入れることが効果的であると考えた。どの授業においても生徒が主体的に英語で自己の在り方や生き方について考え、わかりやすく伝え合うことができる活動を行えるように指導していきたい。

4 生徒の実態

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〔知識〕 ・学校生活や日常生活に関する語句や動名詞および不定詞の意味や働きを理解する。 〔技能〕 ・学校生活や日常生活について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付ける。	・自分自身の将来について、自分の考えや気持ちなどを整理し、それらを簡単な語句や文を用いて伝えることができる。	・自分自身の将来について、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語や文を用いてわかりやすく伝えようと粘り強く取り組んでいる。

6 単元の指導計画（10/12）

時配	学習内容	知	思	態	資料・備考
1	【Scenes 1】 ○なりたい職業やその職業になつてしたいことなどについて話すことができる。				・学習の振り返りを適宜行う。 記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認し、指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。
2	【Think 1】 ○日本の屋台の食べ物についての対話文を読んで内容を理解することができる。				
3	【Scenes 2】 ○趣味や特技などについて話すことができる。				
4	【Think 2】 ○ニューヨークの屋台の食べ物についての対話文を読んで内容を理解することができる。				
5	【Scenes 3】 ○なりたい職業や趣味、特技などについてその目的や理由を付け加えて話すことができる。 ○物事の補足説明ができる。				
6	【Think 3】 ○オランダの食文化についての対話文を読んで内容を理解することができる。				
7	【Retell】 ○対話文の音読練習と内容を確認する。 ○Retell のためのメモを用意し、ギガタブにて Google スライドにてスライドを作成する。	○	○		・活動の観察 ・Google スライド

	○スライドを使いながら対話文の内容を簡潔にわかりやすく伝えることができる。				
8 9	○思考ツールを活用しながら自分自身の将来についてその目的や理由を付け加えて考える。 ○ループリックで評価基準を確認する。	○	○		・活動の観察 ・思考ツール ・ループリック
10 本時	○自分自身の将来についてペアでループリックを使いながら発表練習をする。 ○発表について相互評価、意見交換を行う。 ○高校入試の英語面接で、自分自身の将来について面接官に印象が残るよう伝えることができる。		○	○	・活動の観察 ・思考ツール ・ループリック ・振り返りシート
11 12	○自分自身の将来について全体で発表する。 ○自分自身の将来について相手にわかりやすく伝えることができる。		○	○	・パフォーマンステスト ・ループリック ・振り返りシート

7 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・高校入試の英語面接で、自分自身の将来について面接官に印象が残るよう伝えることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
- ・自分自身の将来について、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語や文を用いてわかりやすく伝えようと粘り強く取り組んでいる。
【学びに向かう力、人間性等】

(2) 本時の展開

過程	学習活動と内容	教師の指導・支援 ◎評価の観点
挨拶 1分	○挨拶	○英語を学習する雰囲気を醸成し、本時の活動のリズムを作る位置づけにする。

帯活動 5 分	○帯活動 ・【場面設定】高校入試模擬面接練習 面接官役と受験者役に分かれて行う。 (1 分間程度ずつ) Be 動詞の過去形・不定詞・動名詞の復習が中心となった活動とする。 <Ex> Q.What do you enjoy in your free time? A.I enjoy watching TV in my free time. Q.What do you want to do in the future? A.I want to study abroad in the future.	○意欲的に英語で話そうとしているかを確認する。
導入 10 分	○教師のサンプル動画を視聴 ・ルーズブリックの使い方を練習する。 ○本時の目標を提示する。	○教師のサンプル動画を視聴して、より良いスピーチにするための重要なポイントについて意見を交換する。
	学習課題：高校入試の英語面接で、自分自身の将来	について面接官に印象が残るよう伝えることができる。
展開 30 分	○スピーキング活動① ・ペアで発表練習を行う。(1 分間ずつ) ・相互評価 (ルーズブリック) を行う。(1 分間ずつ) ・より良い発表にするための意見交換を行う。 ・相手に伝わりやすい発表とは何かを考える。以下の 4 点を話し合う。 ★どのようなアドバイスを伝えたか ★どのようなアドバイスを受け取ったか ★なぜうまく伝わったのか ★なぜ伝わりにくかったのか ○スピーキング活動② ・①の活動で気づいたことを生かして、再度ペアをかえて発表し、相互評価を行う。 ○全体でまとめを行う。	○本番だという心構えで発表するよう促す。 ○互いが教え合うことで相互評価が円滑に進むように指導する。 ○机間指導を行いながら個別に支援する。 ◎高校入試の英語面接で、自分自身の将来について面接官に印象が残るよう伝えることができる。【思考・判断・表現】 ◎自分自身の将来について、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語や文を用いてわかりやすく伝えようと粘り強く取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○ペアのスピーチを聞き、より良いスピーチにするための重要なポイントについて再度全体で再確認する。
まとめ 4 分	○振り返り ・振り返りシートの記入・提出	○次回の授業の見通しをもたせる。

(3) 本時の評価

- ・高校入試の英語面接で、自分自身の将来について面接官に印象が残るよう伝えることができた。

【思考・判断・表現】

- ・自分自身の将来について、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語や文を用いてわかりやすく伝えようと粘り強く取り組んでいた。

【主体的に学習に取り組む態度】